



外国出張報告書

平成 26 年 9 月 8 日

1. 出張国名 ガーナ
2. 出張月 平成 26 年 6 月～7 月
3. 出張目的 「アフリカ稲作振興」プロにおける現地栽培試験：B

4. 成果の概要

不耕起栽培に必要なイネの発芽・出芽・苗立ちの安定化と生育の向上のための阻害要因の解明のため、ガーナ共和国の現地圃場においてイネ栽培試験の試験区の設定、播種および初期生育の測定を行った。

試験地において最適な播種法を考察するため、

水源からの距離が異なる 3 つの圃場を使い、種子予措、播種深度、播種密度、

耕起の有無を変えた試験区を設けた。品種はガーナの奨励品種 **Jasmin85** を用いた。

播種後 6 日目の出芽率は、播種前に耕起し、

プライミング処理種子を深度 1cm に条播した区が最も高く、

次に播種前不耕起で、プライミング処理種子を深度 3cm に条播した区が高かった。

3 圃場を通してプライミング処理した種子を条播した区の出芽率がよい傾向があった。

一方、播種後 9 日目までの苗の生育状況では、

播種前の耕起の有無および播種深度の影響は明瞭ではなかった。

プライミング処理した種子を条播した区では、出芽率が高いだけでなく、

播種後 6 日目の出芽長も高い苗の割合が高かった。

したがって、良好な初期生育の確保にはプライミング処理した種子を条播することが有効と考えられた。